

みたか議会だより

第229号

平成13年5月3日

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249
三鷹市野崎一丁目1番1号

平成13年度予算特集

平成13年第1回定例会 2月28日～3月29日

	件数	可決・採択	否決・不採択	継続
議決案	21	21	0	0
案願	5	1	1	3
意見書・決議	12	9	3	0

- 主な内容
- 2 面……可決された議案(1面からのつづき)
 - 3 面……新年度予算に関する代表質疑
 - 4・5 面……平成13年度予算特集
 - 6・7 面……一般質問
 - 8 面……請願、意見書・決議



すいせいかに育つてほしい

市立上連雀保育園

平成13年度予算を可決 一般会計予算は1.6%の増

三鷹市議会は、平成13年第1回定例会を2月28日から3月29日まで30日間にかたって開催した。

今定例会には、市長から平成13年度予算案をはじめ、兵庫県龍野市との姉妹都市の提携、三鷹市立アニメーション美術館条例など、21件の議案の提案があった。定例会の初日、2日目に16人の議員による市政に関する一般質問が行われ、3日目の3月1日には市長の施政方針説明に続き、13年度予算案の提案があった。この予算案については、7日に4会派による代表質疑が行われるとともに、同日設置の「予算審査特別委員会」に付託され、定例会期間中に集中的な審査がなされた。なお、同日には議案10件も可決された。最終日である29日の本会議では、13年度予算案などの付託議案11件すべてが可決された。

また、本定例会では、議員提出議案として「米原子力潜水艦衝突による宇和島水産高校水産実習船沈没事件に抗議する決議」や、意見書8件が可決された。さらに、市民のみなさんからの請願1件が採択され、関係機関に送付された。

各会計予算の議決結果

▽一般会計

賛成多数で原案可決

▽特別会計

賛成多数で原案可決

国民健康保険事業 満場一致で
下水道事業 原案可決

再開発事業 賛成多数で原案可決

老人医療 満場一致で
老人保健施設事業 原案可決

介護保険事業 賛成多数で原案可決

▽水道事業会計

満場一致で原案可決

平成13年度各会計予算案は、3月7日設置の予算審査特別委員会に付託され、延べ8日間わたる精力的な審査を経て、29日の本会議で委員長報告どおり、それぞれ原案が可決された。

予算規模は、一般会計が58億4千816万1千円、前年度当初比1.6%の増

平成13年度予算規模

一般会計	558億4,816万1千円	前年度当初比1.6%の増
特別会計		
国民健康保険事業	112億6,728万7千円	
下水道事業	36億7,341万2千円	
再開発事業	14億5,617万9千円	
老人医療	136億6,024万2千円	
老人保健施設事業	3億6,339万6千円	
介護保険事業	61億 36万9千円	
合計	365億2,088万5千円	
水道事業会計		
収益的収支	収入 38億 4万5千円 支出 36億4,436万3千円	
資本的収支	収入 3億6,860万3千円 支出 10億4,106万7千円	

ちづくりを目指すものとして高く評価できる。そのうえで、国に税財源配分の見直しや地方交付税制度の抜本的改革を引き続き求めることや、たゆみない行政改革、国・東京都の補助金活用の工夫や施策の見直しを行うとともに、市民に十分な説明を行い、結果を検証し伝えることが必要であるとした。さらに、策定作業中の新基本構想・第3次基本計画については情報通信技術(ICT)の進展や、少子高齢社会の到来等、変化の時代に対応できる効率的で開かれた「21世紀型自治体」の実現に向けたものとなることを望むとした。

そして、委員会でさらに9項目の付帯意見を付し、市理事者が十分配慮のうえ、市政の執行にあたることを求めた。(予算関連記事は3、4、5面に掲載)

予算審査特別委員

- ◎金井 富雄(政新クラブ)
- ◎高井 章博(民主市民連合)
- 丹羽 秀男(公明党)
- 永原 美代(公明党)
- 田中 順子(政新クラブ)
- 吉田 武(グループ21)
- 嶋崎 英治(民主市民連合)
- 石井 良司(政新クラブ)
- 大城 美幸(日本共産党)
- ◎委員長 〇副委員長

龍野市と姉妹都市に

今定例会に、市長から「姉妹都市の提携について」の提案があり、3月7日の本会議で満場一致により可決された。

三鷹市と兵庫県龍野市とは、童謡赤とんぼの作詩者三木露風の生誕地とその詩作活動の後半生を過ごした第二の故郷という縁で結ばれ、平成6年5月から友好都市として絆(きずな)が深められてきた。

原潜衝突事件で

米国政府に抗議の決議

本会議4日目の3月7日、三鷹市議会は、米原子力潜水艦が水産実習船「えひめ丸」に衝突した事件で、米政府に抗議する決議を満場一致により可決した。決議の全文は次のとおり。

米原子力潜水艦衝突による宇和島水産高校水産実習船沈没事件に抗議する決議

去る2月10日(現地時間2月9日)、ハワイ・オアフ島真珠湾沖19キロの海上で、愛媛県宇和島水産高等学校水産実習船「えひめ丸」が、アメリカ海軍太平洋艦隊の原子力潜水艦「グリーンビル」の緊急浮上により、衝突されて沈没した。この事件によって高校生を含む9人の乗組員が行方不明になり、その生存は絶望となっていることについて、深い悲しみを覚えるものである。

事故後、日米政府間の対応は進展しているが、今回の事件は、アメリカ合衆国政府もその責任を認めていること、緊急浮上前の安全確認を怠った原子力潜水艦に起因するものであり、誠にもって遺憾である。

よって、本市議会は、アメリカ合衆国政府に対し強く抗議するとともに、以下の点について、誠意と責任のある対応を早急に求められるよう要請する。

政務調査費を条例化する

本定例会に、市長から「三鷹市議会政務調査費の交付に関する条例」の提案があり、3月7日の本会議で満場一致により可決された。

この議案は、地方自治法第100条第12項及び第13項の規定に基づいて、三鷹市議会における政務調査費の交付に際し、必要な事項を定めるものである。

政務調査費については、申請に基づき、議員の調査研究に資するため、議会における会派に対し、交付されるものである。交付額は、所属議員の数に議員1人につき月額2万7千円を乗じて得た額であり、年2回に分けて交付される。

その他、所属議員の数の異動に伴う調整、使途基準、実績報告書の提出・保存等についても定めるものである。

この条例の施行期日は平成13年4月1日である。

選挙管理委員会を

3月29日の本会議で、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が行われ、指名推せんにより次の各氏が選ばれた。

選挙管理委員会委員
小川 鐵男氏 鴨木 房子氏
小林 不二夫氏 辻 悠一氏
選挙管理委員会補充員
板橋 安男氏 中 陣 敏 夫 氏
平野 文代氏 金子 恵一氏

表彰

去る2月14日、東京都議会議員長会から、長年地方自治に功績があった次の議員が表彰された。(正副議長在職3年以上表彰)

久保田 輝男
野中かず江

叙勲

4月29日、元市議会議長、阿部文雄氏は勲四等瑞宝章を受章された。